正　誤

電子情報通信学会創立100周年記念　マイルストーン冊子の刊行に当たって

ページ	誤	正
本文上から6行目	1967年（昭和47年）	1967年（昭和42年）
本文上から12行目	1938年（昭和12年）	1938年（昭和13年）
本文上から22行目	森田名誉員	森田清名誉員
本文上から24行目	森田名誉員	森田清名誉員
本文上から25行目	森田名誉員	森田清名誉員

執筆協力者

ページ	誤	正
エレクトロニクス分野に追加		山本寛　（日本大学）

第１部マイルストーン

ページ	誤	正
p5　B-1	ＰＯＮを用いトリプルプレイサービス	ＰＯＮを用いたトリプルプレイサービス
p6　B-61	富士山レーダ	富士山レーダー
p6　B-62	ＭＵレーダ	ＭＵレーダー
p10　D-9	映像符号化と標準化	映像符号化の標準化
p11　D-37	信号処置・画像処理プロセッサ	信号処理・画像処理プロセッサ
P22　A-21 暗号理論・方式	(7) 2000 年度 電子情報通信学会 SCIS(2000 年 1 月) R. Sakai, K. Ohgishi,M.Kasahara「Cryptosystems Based on Pair-ing」	(7) 1999 年度 電子情報通信学会 SCIS(2000 年 1 月) R. Sakai, K. Ohgishi,M.Kasahara「Cryptosystems Based on Pair-ing」
p25　B-5 クロスバ交換機 文献に追加		(3) 大和茂樹, 渡部堅也, 室賀弘, 奥田二郎,”電子交換機の一方式とその使用実績について”, 電氣通信学会雑誌 Vol.44, no.2, pp. 244-250, Feb. 1961
p25　B-6 電子交換機 文献 (3) 削除	(3) 大和茂樹, 渡部堅也, 室賀弘, 奥田二郎,”電子交換機の一方式とその使用実績について”, 電氣通信学会雑誌 Vol.44, no.2, pp. 244-250, Feb. 1961	

p30　B-19 テラビット WDM 光増幅中継伝送方式 の文献	（10）2009 年度	（10）2001 年度
p30 B-24 超高速 OTDM 技術の文献	（3）大黒將弘，宮崎哲弥，大谷朋広，長尾康之，久保田文人，鈴木正敏，“JGN2 光テストベットを用いた160Gbit/s OOK/DPSK 光 信号フィールド伝送試験，”信学技報，vol. 104，no. 410，OCS2004-83，pp. 7-10，Dec. 2014	（3）大黒將弘，宮崎哲弥，森田逸郎，大谷朋広，長尾康之，久保田文人，鈴木正敏，“JGN2 光テストベットを用いた160Gbit/s OOK/DPSK 光 信号フィールド伝送試験，”信学技報，vol. 104，no. 410，OCS2004-83，pp. 7-10，Nov. 2004
p45　B-61	富士山レーダ	富士山レーダー
p45　B-62	ＭＵレーダ	ＭＵレーダー
p57　B-96 文献(5)	山田豊通	山田豊通，山崎泰弘
p57　B-96 文献(9)	結城皖曠，山田豊通	山崎泰弘，若原恭，結城皖曠，山田豊通
p97　D-35	近田義弘	近田義広
p97　D-35	パイプライン方式による多体問題計ソルバを提唱し，このアイディアによるディジタル分光計を開発した。	ミリ波干渉計のためのディジタル分光計を開発し、その専用ハードウェアというアイデアの応用として、多体シミュレーション用のパイプライン方式による多体問題計ソルバを提唱した。
p97　D-35	このアイディアを引き継ぐ形で	このアイデアを受け